

顕彰状

ピーター・サロベイ氏は1958年に米国マサチューセッツ州に生まれた。1980年にスタンフォード大学で学士号（心理学）と修士号（社会学）を取得した後、イエール大学大学院心理学専攻に進学し、1983年に修士号、1986年にPh.D.を取得した。それ以来、同大学で教鞭を執り続け、現在はSterling Professor of Psychologyのポストに就いている。

同氏はイエール大学において、Chair of Department of Psychology、Dean of Graduate School of Arts and Sciences、Dean of Yale College、プロボストなどの要職を歴任した後、2013年に第23代学長に就任した。同氏は、Faculty of Arts and SciencesやSchool of Engineering and Applied Scienceなどの教学組織を再編し、イエール大学の強みである文系領域を拡充する一方で、自然科学やデータ科学などの領域を戦略的に強化し、学際的な研究・教育環境の整備に尽力した。また、経済的・社会的に多様な背景を持つ学生のための支援プログラムの拡充、Yale Venturesなどを含むイノベーション・エコシステムの構築、さらにアフリカやアジア諸国との国際連携強化も実現した。ファンレイジングにおいても大きな成果を上げ、同氏の任期中にイエール大学の基金（エンダウメント）は倍増した。同氏のリーダーシップのもとで進められたこれらの施策により、同大学は様々な分野で世界トップクラスの地位をさらに強固なものとした。

社会心理学を専門とする同氏は、「感情知能（Emotional Intelligence）」理論を提唱し、論文・著書等は300を超えている。著書・編書の一部は翻訳され、これまでに11の言語で出版されており、心理学のみならず、ビジネス、教育、公衆衛生など多岐にわたる分野に多大な影響を与えてきている。これまでに同氏は、1990年にNational Science FoundationのPresidential Young Investigator (PYI) Award、2000年にイエール大学のWilliam Clyde DeVane Medal for Distinguished Scholarship and Teaching in Yale College、2001年にNational Cancer InstituteのCIS Partner in Research Award、2002年にイエール大学のThe Lex Hixon '63 Prize for Teaching Excellence in the Social Sciences、2014年にはAmerican Psychological FoundationのArthur W. Staats Lecture Award for Unifying Psychologyを受賞している。さらに、2013年にはNational Academy of MedicineとAmerican Academy of Arts and SciencesのElected Fellowに選出されており、研究者としても教育者としてもその貢献が広く評価されている。

さらに、同氏はNational Institute of Mental HealthやNational Science Foundationの委員会メンバーも務め、米国の公衆衛生政策や研究費支援政策の発展にも寄与している。また、上海交通大学、ハーバード大学、マギル大学など数多くの大学から名誉博士号を授与され、米国のみならず、世界の高等教育界におけるリーダーとしても広く認知されている。

イエール大学は本学にとって最も重要なパートナー大学の一つである。2007年には朝河貫一記念研究者招聘プログラムを開始し、翌2008年には本学が当時のリチャード・C・レビン学長に名誉博士号を贈呈し、両大学は学術交流協定を締結した。それ以来、活発な教育・研究交流が続いており、サロベイ学長（当時）は、本学の学外理事を務めた故フランシス・M・ローゼンブルース教授の本学への出向を認め、同教授の推薦によりFox International Fellowship Programの対象に本学を認定した。イエール大学の同プログラムでは、1国から1大学のみを選び1年間1名の学生を招聘し、渡航費、滞在費等を支援するが、日本は例外的に2大学を対象とし、東京大学に加えて本学も対象に認定した。

本学は創立150周年に向けた取り組みの中で、イエール大学を目標とすべきモデル大学と位置付けており、さらに長年同大学を率いてきたサロベイ氏の助言を得るため2024年10月より同氏を客員特命教授として嘱任している。

「世界人類に貢献する大学」の実現を目指す本学にとって、模範となるイエール大学との連携強化は極めて重要な意義を有し、学長として同大学を長年導いたピーター・サロベイ氏に名誉博士の称号を贈呈することはまことに時宜にかなっているというべきである。

ここに早稲田大学は、ピーター・サロベイ氏に

名誉博士（Honorary Doctor of Science）の学位を贈ることとした。

学問の府に栄えあれ！

大学が栄誉を与えんとする者を讃えよ！

(Vivat universitas scientiarum! Laudate quem universitas honorabit!)

2025年4月1日

早稲田大学